

ふれあいⅡ

学校教育目標

「やさしく かしく たくましく
自分のよさを生かして
未来を創ろうとするしゃちっ子」
の育成

令和7年11月21日 校長 重松 景二

愛でいっぱい、学びでいっぱい、遊びでいっぱいの学校にする

アップデートしよう（未来を創るのは子どもたち）

寒くなりました 風景は秋…



都合により学校だよりが1号飛んでしまいました。どうもすみません。

過ごしやすい季節があっという間に過ぎ、朝は寒くて、子どもたちも縮こまって登校してくる様子が見られます。しかし、空を見ると秋らしい、うろこ雲やすじ雲が見られますし、紅葉が見頃のところも多いようです。11月もあと1週間となりました。本格的な冬がやってきそうです。冬は子どもたちがなかなか朝起きられなくて、登校がいつもより遅くなることがあります。また、インフルエンザ等の感染症にも注意が必要です。子どもたちの変化に敏感になって、指導していく必要があります。12月は学校に来るのが3週間しかありませんので、元気に過ごして楽しい冬休みを迎えてほしいものです。



児童会選挙が近くなってきました 来年度への助走…

先日、しゃちっこ集会の折に、児童会選挙の告知がありました。早くも来年度への助走です。児童会は、公立校では見られなくなりましたが、本校では、自分たちでしっかり考え、学校をよくするための活動に主体的に取り組んでいます。このような活動を通して、子どもたちは自分のよいところをしっかり伸ばしていくことができるのだと思います。自身で素敵な学校へと変えていく取組は、次世代のリーダーを育てていくことにつながります。

命の授業 愛されて大きくなっていくこと…



20日木曜日、6年生を対象にして、講師に高木病院の小島加代子先生を迎えて「命の授業」が行われました。『おかあさんがおかあさんになった日』の読み聞かせから始まり、精子と卵子の受精から、卵子が分裂していく様子、大きくなって人間らしくなっていく様子など、赤ちゃんの誕生までを動画や写真で解説されました。子どもたちは静かに画面に見入っていました。また、妊婦さんの健康診断の様子やあいだみつおさんの『自分の番いのちのバトン』などから命の大切さについて、望まれて生まれてきたことについて話されました。さらに思春期のこと、自分を大切に、友だちを大切にすることについて話されました。この時期にこのような講話を聴くことで、ちょっと立ち止まって自分のことや命のことを振り返ることができたのではないのでしょうか。



本の紹介 いかがでしょうか…

最近読んでよかったなあと思う2冊を紹介します。『学校に…』のほうは最近話題になっている不登校などについて子どもがどのように思っているのか漫画と合わせて解説しています。『法的…』の方は子どもへの指導、子どもの行動が法的に見るとどうなのかと解説しています、どちらもたいへん読みやすく、わかりやすいので、読んでみてはいかがでしょうか。

